

授業科目(ナンバリング)	国内観光資源 (CB102) (実践的教育科目)			担当教員	森尾 真之 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択 (コース選択必修)
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
「国内旅行業務取扱管理者」試験の「国内旅行実務」における、国内観光地理に関する学習を行う。国家試験受験予定者は合格基準である60点が取れるレベルの知識向上を目指す。またテレビの旅番組などの動画を見ながらキーワードを具体的な映像を通して認識することで、各地域のより深い知識と理解を深め、旅行会社における旅行企画の実務などを学び、観光業への関心を醸成する。							①⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	都道府県ごとの観光地について説明できる。観光資源をルートやジャンルで関係づけ、分類することができる。				定期試験		50%
情報収集、 分析力	旅行業で必要とされる観光資源に関する知識を身につけ、観光ルートのプランニングができる。				定期試験 課題レポート		20% 10%
コミュニケーション力	自分が好きな観光地・観光資源について、その理由も含めて説明することができる				授業への取り組み		10%
協働・課題解決力							
多様性理解力	旅行商品を顧客の類型(クラスター)やニーズの点からその特徴を見出し、自分でオリジナリティのある企画ルートを提案する。				課題レポート		10%
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は旅行業務取扱管理者試験レベルを基本に出題、70%評価とする。 講義ノートは、主に講義での既習項目を都道府県別の白地図に記入し、知識の定着を確認し、レポートは自身で選んだ観光資源について解説し、ポートフォリオからフィードバックとして評価し、合計で20%とする。 授業への取り組みは、レポートの内容や講義ノートの提出を評価する。							
授業の概要							
担当教員の実務経験に基づき、主に旅行商品企画、旅程作成などに必要な知識を習得する実践的な授業である。できるだけ多くの画像や動画を紹介し、教科書の観光地名とつなげることにより知識の定着を図る。また、インバウンドの増加を受けて、外国人観光客が注目する人気のスポットなど地域の新しいトピックスを併せて紹介し、観光素材に対する関心を深める。国家試験対策としては、教科書に記載されている試験頻出項目を中心に解説を行い、類似の練習問題を解くことで併せて復習とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：「国内観光資源」JTB総合研究所編 参考書：「国内旅行業務取扱管理者・科目別速習問題集」「国内観光地理サブノート」(ともにJTB総合研究所) 指定図書：「街道をゆく 3 陸奥のみち、肥薩のみちほか」司馬遼太郎著 朝日文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日本の地図帳は高校までに使用していた地図帳でも構わないので副教材として常に持参・参照し、時間があれば目を通してほしい。そして可能な限り自分でその観光地に足をはこび、新たな発見につなげることを期待している。 また、国内旅行業務取扱管理者資格の国家試験を受験する学生は、次回の授業範囲の教科書をあらかじめ読むなどの予習と関連問題の反復による復習など、各自で積極的に取り組むことが重要である。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	講義ガイダンス	国内観光資源を学ぶ意義と講義概要。 国家試験の概要について。	予習/復習：教科書で学ぶ項目 の確認
2	テーマ別学習①	日本の世界遺産、ラムサール条約湿地について	予習：教2部23、24 復習：所在地を地図で確認
3	テーマ別学習②	国立公園と自然観光資源 国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化	予習：教2部1-9,22 復習：所在地を地図で確認
4	テーマ別学習③	日本の歴史的文化的観光施設（温泉、城郭、神社、寺院、 庭園、歴史的建造物、旧国名）	予習：教2部10-13,25,32 復習：所在地を地図で確認
5	テーマ別学習④	祭り・年中行事、郷土料理 文化施設・文化財（美術館、博物館、文学館、記念館）	予習：教2部19,28-30 復習：所在地を地図で確認
6	テーマ別学習⑤	景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力 向上（重要伝統的建造物保存地区など）	予習：国内パンフWEBで確認 復習：自分の興味と関連する 場所を調べる
7	北海道地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P2-7 復習：学習事項を地図で確認
8	東北地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P8-24 復習：学習事項を地図で確認
9	関東地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P25p-44p 復習：学習事項を地図で確認
10	甲信越地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P48-50,58-65 復習：学習事項を地図で確認
11	東海・北陸地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P45-47,51-57,66-77 復習：学習事項を地図で確認
12	近畿地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P78-96 復習：学習事項を地図で確認
13	中国・四国地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P97-118 復習：学習事項を地図で確認
14	九州地方	地域ごとの観光資源の学習を教科書およびビデオにて 学習。	予習：教P119-140 復習：学習事項を地図で確認
15	講義まとめ	講義のおさらい（観光コース作成問題など）	予習：教科書全体通読 復習：配布レジュメ問題確認
16	定期試験	筆記試験	授業を振り返り、 試験の準備をする。